

海外や日本で活躍する **看護師** が切り開く がん看護の **今** そして **未来**

◆ 日時 ◆

2月24日（土）13：40～14：40

◆ 会場 ◆

第4会場（神戸国際展示場2号館3A会議室）

◆ 配信方法 ◆

LIVE 配信 + オンデマンド配信

◆ 座長 ◆

水野 道代（筑波大学）

◆ 講師 ◆

朝倉 ストレンペック 由紀 氏

ナース・サイエンティスト / 緩和ケア高度実践看護師

アドヴェントヘルス・パーカー病院、アメリカコロラド州デンバー

黒田 貴子 氏

がん看護専門看護師 / 助教

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

先端中核看護科学講座 緩和ケア看護学分野



AI やゲノム医療などの最先端の知識や技術を用いた実践が急速にがん医療に浸透する中で、がん看護も日々さまざまに進化を続けています。科学技術の進歩に伴い診断や治療が複雑化すれば、当然その状況に看護も対応し、そして基本的な看護ケアも科学と共に進歩を続けています。例えば、口腔ケアは症状の悪化や病気の予防に必要なだけでなく、その質が患者の予後を左右することがあります。このことは、科学的な裏付けを持って示すことができるようになりました。しかし、口腔ケアという基本的でかつケア効果を明示しやすい看護に環境や文化による差が生じているといったことはないでしょうか？

本国際シンポジウムでは、米国と日本で活躍する日本人の専門看護師を演者として招き、口腔ケアを中心とする看護ケアを題材に、最先端医療施設で行われる看護ケアの醍醐味を紹介していただきます。そして COVID-19 によるパンデミックがある程度の落ち着きを示し始めた現在、国際的な視野でがん看護をとらえた時、日本のがん医療の臨床において、看護師は何をなすべきか、また、看護ケアの未来のあるべき姿を討議したいと思います。